平均正答数

**松江第二中学校：8.4問**　　江戸川区（区立）：8.6問

東京都（公立）：9.1問　 全国（公立） ：8.4問

**正答数分布**

**令和６年度　全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて　【数学】　松江第二中学校**

**「 領 域 別 」 の 結 果**

＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 上位　　　　　　　　　　　　　　　　　下位 | | | |
| **数　学** | Ａ層  13～16問 | Ｂ層  9～12問 | Ｃ層  6～8問 | Ｄ層  0～5問 |
| **松江第二中学校** | **20.4** | **26.4** | **28.8** | **24.0** |
| 江戸川区（区立） | 22.3 | 28.5 | 23.6 | 25.6 |
| 東京都（公立） | 26.2 | 30.1 | 21.4 | 22.3 |
| 全国（公立） | 20.4 | 28.5 | 23.7 | 27.4 |

【分析結果と授業改善に向けて】

【平均正答率の差】

|  |  |
| --- | --- |
| **松江第二中学校** | **53％** |
| 江戸川区（区立） | 54％ |
| 東京都（公立） | 57％ |
| 全国（公立） | 52.5％ |
| 都との差 | **-4ポイント** |

領域別にみると、特に「数と式」・「図形」が区や都に比べて低くなっている。

特にC層・D層に対する指導について、「数と式」については、授業内での小テスト実施や計算コンテストなどを継続して行い、基礎計算力の定着を粘り強く指導する。特に「できた」、「わかった」という成就感、達成感がもてるような授業づくりを目指す。

「図形」については、模型やＩＣＴを利用し、数学的活動を通して、楽しく学びながら図形の性質を学べるように授業改善する。

％

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。